

科目名	作業療法特論			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

評価実習のために必要な基礎知識、検査評価技術、コミュニケーションスキル等を習得する

〔授業全体の内容の概要〕

オスキーの実施を前提にグループワークを中心に実施する。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

評価実習合格レベルに到達すること

回数	講義内容
1	OSCE オリエンテーション
2	OSCE 課題1 練習
3	OSCE 課題1 練習
4	OSCE 課題1 実施 (1日)
5	OSCE 課題1 実施 (1日)
6	OSCE 課題1 実施 (1日)
7	OSCE 課題1 フィードバック
8	OSCE 課題1 フィードバック
9	OSCE 課題2練習
10	OSCE 課題2練習
11	OSCE 課題2実施 (1日)
12	OSCE 課題2実施 (1日)
13	OSCE 課題2実施 (1日)
14	OSCE 課題2フィードバック
15	OSCE 課題2フィードバック
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
PT・OTのための臨床技能とOSCE	才藤栄一 監修	金原出版

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験（課題1から2→それぞれ満点で合格しなければ実技試験を受験する資格を持たないとする）
 実技試験（OSCE 課題1から2）（2つの課題それぞれ合格しなければ再試験期間中に再度実技試験を実施する）
 履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする